

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社 なとり

上場取引所 東

コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長兼経理部長 (氏名) 安宅 茂

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	35,169	6.5	1,543	38.9	1,512	39.9	1,005	41.2
29年3月期第3四半期	33,031	4.7	2,524	1.6	2,516	1.2	1,710	1.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,143百万円 (34.3%) 29年3月期第3四半期 1,739百万円 (1.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	79.94	
29年3月期第3四半期	135.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	40,800	19,401	47.6
29年3月期	36,432	18,497	50.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 19,401百万円 29年3月期 18,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		9.00	18.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当1円00銭

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,720	5.4	1,120	43.8	1,100	45.5	730	45.6	58.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	15,032,209 株	29年3月期	15,032,209 株
期末自己株式数	2,449,380 株	29年3月期	2,449,314 株
期中平均株式数(四半期累計)	12,582,831 株	29年3月期3Q	12,582,927 株

30年3月期3Q

2,449,380 株

29年3月期

2,449,314 株

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q

12,582,831 株

29年3月期3Q

12,582,927 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、新製品の導入及び市場定着を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進等に引き続き取組み増収となりました。しかし、前年度の下半期以降、記録的な不漁が続く国産するめいかの状況が更に悪化しており、諸施策を講じておりますが、大幅に利益を減少させることになりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高351億69百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益15億43百万円（同38.9%減）、経常利益15億12百万円（同39.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億5百万円（同41.2%減）となりました。

		前第3四半期		当第3四半期		差引増減額・率	
		自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		自平成29年4月1日 至平成29年12月31日			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	33,031	100.0	35,169	100.0	2,138	6.5
	売上総利益	10,603	32.1	9,965	28.3	△638	△6.0
	販管費	8,079	24.5	8,422	23.9	343	4.2
	営業利益	2,524	7.6	1,543	4.4	△981	△38.9
	経常利益	2,516	7.6	1,512	4.3	△1,004	△39.9
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,710	5.2	1,005	2.9	△704	△41.2

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

区 分		前第3四半期		当第3四半期		差引増減額・率	
		自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		自平成29年4月1日 至平成29年12月31日			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
食 品 製 造 販 売 事 業	水産加工製品	14,480	43.8	15,062	42.8	581	4.0
	畜肉加工製品	5,845	17.7	6,421	18.3	575	9.8
	酪農加工製品	6,243	18.9	6,407	18.2	164	2.6
	農産加工製品	888	2.7	1,244	3.5	356	40.1
	素材菓子製品	1,576	4.8	1,671	4.8	94	6.0
	チルド製品	412	1.2	615	1.7	202	49.0
	その他製品	3,355	10.2	3,518	10.0	162	4.8
	計	32,802	99.3	34,940	99.3	2,137	6.5
不動産賃貸事業計		228	0.7	229	0.7	0	0.3
売上高合計		33,031	100.0	35,169	100.0	2,138	6.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、いか製品の売上増加に加え、巾着タイプのチーズかまぼこや、大袋タイプの「茎わかめ」なども売上を伸ばしたことにより増収となりました。畜肉加工製品は、新製品の「3種のサラミ リッチセレクション」などのドライソーセージ製品が引き続き好調に推移したこと、「THEおつまみBEEF 厚切ビーフジャーキー」などのジャーキー製品も売上に貢献したことで増収となりました。酪農加工製品は、チーズ鱈製品や、「3つの味わい おつまみチーズアソート」などが奏功し、増収となりました。農産加工製品は、健康志向の高まりにより、ナッツ製品が売上を伸ばし、増収となりました。素材菓子製品は、酸味をマイルドにした「甘ずっぱいカリカリ梅 種ぬき」などの梅製品が好調に推移し、増収となりました。チルド製品は、一部大手チェーンにおいてフードパック製品の導入が進んだこと、チルドタイプのチーズ鱈製品が売上を伸ばしたことで、増収となりました。その他製品は、一粒ずつ個包装で食べやすい「うずらの味付けたまご 燻製風味」などのレトルト製品が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は349億40百万円（同6.5%増）となりました。

利益面では、増収にもかかわらず、記録的な不漁が続く国産するめいかの状況が更に悪化したことや、梅の不作等で原料価格が更に高騰しており、既に製品の規格変更などの諸施策を講じているものの、売上総利益は98億18百万円（同6.1%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄とりなどあるべきコストを追求するコストコントロールに引き続き努め、84億22百万円（同4.2%増）に留めることができました。

この結果、営業利益は13億95百万円（同41.3%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は2億29百万円（同0.3%増）、営業利益は1億47百万円（同1.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は408億円（前連結会計年度末比43億68百万円増）となりました。

資産の部では、現金及び預金などが減少しておりますが、受取手形及び売掛金が増加したことや、新設した埼玉第二工場の生産設備導入によりリース資産が増加したこと、するめいか高騰に伴い原材料在庫が増加したこと等により、総資産が増加いたしました。

負債の部では、支払手形及び買掛金、リース債務の増加等により、負債合計は213億99百万円（同34億64百万円増）、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は194億1百万円（同9億3百万円増）となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比3.2ポイント減の47.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日（平成30年2月5日）付で業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日付で公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,626,924	2,934,919
受取手形及び売掛金	7,445,074	10,389,261
商品及び製品	1,053,447	1,147,051
仕掛品	758,043	732,904
原材料及び貯蔵品	3,375,686	3,702,243
その他	659,412	344,877
貸倒引当金	△1,106	△1,074
流動資産合計	16,917,480	19,250,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,355,958	10,531,708
土地	5,361,405	5,690,670
その他(純額)	1,992,447	3,373,818
有形固定資産合計	17,709,812	19,596,197
無形固定資産	143,828	184,796
投資その他の資産	1,661,001	1,769,587
固定資産合計	19,514,643	21,550,581
資産合計	36,432,123	40,800,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,216,051	6,963,330
短期借入金	1,855,000	1,830,000
1年内返済予定の長期借入金	460,040	524,120
未払法人税等	408,245	103,281
賞与引当金	339,041	342,011
役員賞与引当金	33,000	24,750
その他	4,319,508	3,826,525
流動負債合計	11,630,886	13,614,018
固定負債		
長期借入金	3,505,260	3,788,450
役員退職慰労引当金	667,454	696,142
退職給付に係る負債	947,204	951,560
資産除去債務	5,825	5,825
その他	1,177,877	2,343,224
固定負債合計	6,303,622	7,785,201
負債合計	17,934,508	21,399,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	16,050,479	16,817,284
自己株式	△2,095,811	△2,095,930
株主資本合計	18,220,716	18,987,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312,796	434,230
為替換算調整勘定	84,074	85,103
退職給付に係る調整累計額	△119,972	△105,192
その他の包括利益累計額合計	276,898	414,141
純資産合計	18,497,614	19,401,544
負債純資産合計	36,432,123	40,800,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	33,031,254	35,169,763
売上原価	22,427,278	25,204,068
売上総利益	10,603,976	9,965,694
販売費及び一般管理費	8,079,411	8,422,418
営業利益	2,524,564	1,543,276
営業外収益		
受取配当金	22,615	22,829
受取賃貸料	20,028	20,437
その他	31,067	34,038
営業外収益合計	73,711	77,305
営業外費用		
支払利息	15,425	16,587
賃貸費用	24,474	23,284
持分法による投資損失	35,196	68,404
その他	6,551	57
営業外費用合計	81,647	108,334
経常利益	2,516,628	1,512,247
特別利益		
投資有価証券売却益	3,285	-
特別利益合計	3,285	-
特別損失		
固定資産除却損	508	283
特別損失合計	508	283
税金等調整前四半期純利益	2,519,405	1,511,963
法人税等	809,330	506,084
四半期純利益	1,710,074	1,005,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,710,074	1,005,879

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,710,074	1,005,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,420	121,433
退職給付に係る調整額	14,168	14,780
持分法適用会社に対する持分相当額	△47,228	1,028
その他の包括利益合計	29,360	137,242
四半期包括利益	1,739,435	1,143,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,739,435	1,143,122
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。